

第 6 回東京湾の日・photo コンテスト 入賞作品

「東京湾の日・大賞」 1 名



撮影者：宮坂 誠 千葉県

撮影場所：千葉県浦安市日の出

お題またはその時の心情：三番瀬と浦安細川流投網

コメント（田久保委員長）

江戸末期から続く、浦安市の細川流投網保存会の練習風景でしょうか。本来は船の上から投網するのですが、東京湾の奥にある遠浅の海の波打ち際で投網をしている風景が、江戸前の東京湾を想起させてくれる写真です。見事に開いた網の動きも伝わってきます。審査員の採点の合計で、最高得点を獲得した作品です。

秀作



撮影者：斉藤 正彦 東京都

撮影場所：お台場公園

お題またはその時の心情：水辺で遊ぶ親子

コメント（芝原委員）

子どもたちに遊び場を与えてくれる東京湾のやさしい海辺が、水のきらめきと人物のシルエットで美しく表現されています。

海で遊んだ記憶は家族みんなにとって一生の宝となる。そんなことを想起させる一枚です。

秀作



撮影者：富山 隆志 宮崎県

撮影場所：若洲海浜公園

お題またはその時の心情：命の橋

コメント（田久保委員長）

東京ゲートブリッジ、別名「恐竜橋」とも呼ばれるこの橋をくぐって内陸側に進んで行くと、海上から大都会のビル街を望むことができる。まさに東京湾から都市部へのゲートであり、夜の光にライトアップされた無機質でロボットのような姿、その背後に浮かぶ満月が、構図の美しいポイントになっています。

佳作



撮影者：齋藤 秀一 神奈川県

撮影場所：横須賀市平成町

お題またはその時の心情：黒船来て 静かな湾に 風騒ぐ

コメント（寺元委員）

横須賀沖にある、東京湾に浮かぶ唯一の自然島です。

この猿島と言う名前は日蓮上人を導いた白い猿の伝説に由来するそうです。

黒船来航の際、作られた海図にはペリーアイランドと記載されています。

その後、旧日本軍要塞となり、その後アメリカに接収されるなど数奇な運命を辿った猿島ですが、タイトルにあるように「黒船来て 静かな湾に 風騒ぐ」のとおり、黒船が来航したときの情景と、現在の穏やかな風景に想いを馳せる作品です。

特別賞



撮影者：斉藤 正彦 東京都

撮影場所：お台場公園

お題またはその時の心情：夏の涼を求めて

コメント（田久保委員長）

審査員 3 名共に上位の点数をつけた作品。夕空とレインボブリッジと屋台船の明かり、夕焼けに反射する海面。画面全体にイルミネーションのようにちりばめられた光のバランスが美しい。見る人の心を清々しくしてくれる、東京湾の一場面を象徴する作品です。